年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（１・２学年用） 教　　科目 保健体育

教　科：体育　　科　目：保健体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 5 組

教科担当者：（1組：寺田）　（2組：寺田）　（3組：寺田）　（4組：寺田）　（5組：寺田）

使用教科書：（　　）

教科　体育　　の目標：

【知識及び技能】各種目の運動特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康について、自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養うことができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

科目　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にするなどの意欲を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	陸上競技(短距離走) ・中間走の高いスピードを維持して速く走ることができる。	○指導事項 ・短距離走 ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・中間走での走り方を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・中間走のポイントを考えワークシートに書き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らが目標を設定し、目標に向かって練習	○	○	○	10
	体育大会練習 ・集団行動を通して、仲間とともに協働し課題を解決することで、各種目に意欲的に取り組めることができる。	○指導事項 ・体育大会練習	【知識・技能】 ・競技の特性に応じた効率の良い動き方を理解し、実践することができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を見出し、協働を通して解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己の役割を全うし、責任を果たすととも	○	○	○	9
	水泳 ・記録の向上に向けた技術の名称や行い方、課題解決の方法を理解し、効率を高めて泳ぐことができる。	○指導事項 ・水泳（４泳法） ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・クロールや平泳ぎでは、プル、キック、呼吸動作を習得し、安定したペースで長く、速く泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 ・プル、キック、呼吸動作に関して自己の能力に応じて課題を設け、仲間とともに解決することができる。	○	○	○	12
2学期	水泳 ・記録の向上に向けた技術の名称や行い方、課題解決の方法を理解し、効率を高めて泳ぐことができる。	○指導事項 ・水泳（４泳法） ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・クロールや平泳ぎでは、プル、キック、呼吸動作を習得し、安定したペースで長く、速く泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 ・プル、キック、呼吸動作に関して自己の能力に応じて課題を設け、仲間とともに解決することができる。	○	○	○	9
	バドミントン 基本的な技術・ルールを理解し、実際の試合に活かせるようにする。また、シングルスとダブルスの試合を自分たちで運営できるようにする。ダブルスの試合においてはペアと協力し攻防を楽しめるようにする。	○指導事項 ・個人技術習得 ・戦術の理解 ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・基本的な技術・ルールを理解し実践できる。また、シングルスとダブルスの試合を自分たちで運営できるようにする。 【思考・判断・表現】 実際の試合において個人やグループで協力し課題を見つけ、改善し攻防を楽しめるようにする。	○	○	○	10
3学期	ソフトボール ・ソフトボールの基本的技術の習得に加え、攻守にわたり仲間と協力して戦術を活用し楽しむことができる。	○指導事項 ・個人技術習得 ・戦術の理解 ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・基本となる、投げる・取る・打つことができ、攻守にわたり仲間と協力して戦術を活用し楽しむことができる。 【思考・判断・表現】 ・基礎技術に加え、戦術的な面において個人の課題、チームの課題を見つけ個人またはチームとして解決することができる	○	○	○	10
	陸上競技(長距離走) ・ペースの変化に対応して走ることができる。	○指導事項 ・陸上競技（長距離走） ○教材 ・ワークシート ○一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・リラックスした腕振りとフォームで走り、自己に適したペースで走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・リラックスしたフォームで走るために、自己や仲間の課題を見出し、解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10 合計 70